

＜先週の説教から＞

『合同礼拝一敵(てき)を愛せる？』

武田 真治 牧師

マタイによる福音書 5 : 38-39、43-45

いつもは『ルカによる福音書』を読み続けていますが、《こどもたちとの合同礼拝》では、大人の礼拝でも日曜学校礼拝のカリキュラムにもとづいてみ言葉を聞いています。今日はそれによる聖書箇所です。ここにはとても有名なイエス様の教えがあります。即ち「あなたがたも聞いているとおり、『目には目を、歯には歯を』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。悪人に手向かってならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」です。

この『目には目を、歯には歯を』と命じられているのは、旧約聖書の申命記 19 章 15 節以下等にある法令で、意味としては、相手から目を殴られたら、その分、相手の目を殴っても良いという報復を容認する規則であり、また、それ以上の復讐を禁ずる戒めでもありました(=倍返し等はダメだと)。

それに対してイエス様が新しく命じられた行動が「悪人に手向かってならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」だったのです。従って、何よりも“やられたら、やり返す”ことを禁じていると言い得ます。

その上で、もう少しこの言葉に込められているイエス様の思いを汲むことができるとするならば、一つには、この言葉は相手からされたことをすべて赦して、忘れろとは言われていないという点です。もし、されたことをすべて忘れろというのであれば、右の頬を打たれたら、そのことを気にせず、もう一度、右の頬を出せということにならないでしょうか。右の頬を打たれて、反対側の左の頬を出すということは、決して、右の頬に

されたことを忘れてはいないということです。打たれたままにしておくのではなく、報復をしない、他の形で対応しなさいという意味なのです。赦せとは言われていません！

そして、もう一つは、右の頬を打たれた時に、報復をしないで、その場から立ち去るということもしないで、左の頬を出すようにと言われているのですから、それは、そこに“立ち続ける”という意味も込められています。決して、なかったことにしろというのではなく、むしろ“負けない、逃げない”で左の頬をも出すという態度でお返しなさいと！教えられます。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 5月22日(水) 20:00
II. 5月23日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: チャペルコンサートを覚えて
担当者: (水) 金刺 (木) 中村
祈りに覚える人: 阿部さん 飯島さん
*ハンナの会 5月21日(火) 10:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男23 女70 計93(SS含む)
祈祷会 I. 男5 女3 計8 II. 男1 女7 計8
日曜学校 幼稚科3 小中科7 計10

【次週主日礼拝】 5月26日(日)

聖書: 詩編 43:1~5
ヨハネによる福音書 4:19~26
説教: 「詩編④ — なぜうなだれるのか、魂よ」
武田 真治 牧師

讃美歌: 51(1)、32、346、507、453、
28(1)

【次週当番表】

司式: 岩佐長老 奏楽: 須田 礼拝: 茨木長老
献金: 金刺 喜嶋 受付: 金刺 坂田
会堂準備: 大野 勝村 黒澤 鶴巻
西尾

看板: 中村 週報: 飯島 お花: 飯島

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会 ・赤熊広場草刈り
礼拝後: ・礼拝/伝道/牧会/社会/教育 各委員会
・チャペルコンサート 13:30~

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 5月 19日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>